

# 次期「行政システム改革推進計画」の全体イメージ(案)

<【計画期間】平成17年度～21年度の5年間>

## 課題

市町村合併への対応  
目前に迫った

からの脱却  
財政の危機的状況

ニーズへの対応  
多様化する行政

## 基本方針

### ◆新たな「分権型行政システム」の実現

県の役割の明確化

- ・広域的視点から地域全体の発展を方向づける総合プロデューサー(舵取り役)
- ・基礎自治体の対等、協力のパートナーであり、必要最小限のサポート役

### ◆最も効率的でスリムな県庁の構築

- ・持続可能な行財政構造の確立
- ・分権新時代の県の役割を的確に反映
- ・最少の経費で最大の効果の達成

### ◆県民起点と成果重視の組織風土づくり

- 統制 → 協働
- 管理 → 経営
- 国中心・行政主導 → 県民起点
- フルセット、総花主義 → 選択と集中
- 予算獲得主義 → 成果重視

説明責任の徹底  
透明性の向上

## 改革の方策

### 県の枠組みの改革

#### 新たな「分権型行政システム」づくり

- ◆県の役割を踏まえた事務事業の見直し
- ◆基礎自治体の行政体制整備への総合的な支援

### 県庁内部の改革

#### スリムでスピーディーな「組織」づくり

- ◆本庁・地方機関の組織見直し
- ◆定員の適正管理
- ◆事務プロセスの見直し
- ◆改革の推進に向けた情報基盤の活用
- ◆県出資法人の見直し

#### 県民起点による成果重視の施策展開ができる「仕組み」づくり

- ◆県民起点と成果重視の行政運営の確立
- ◆県民参画型による県政の推進

#### 元気な広島県を支える「人」づくり

- ◆職員の能力と意欲を引き出し、組織の総合力と生産性を高める人材育成

## 目標

「活力と安心がある元気な広島県」の実現